横浜市立根岸小学校　　令和３年度　体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1　中期学校経営方針

（1）学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「笑顔と拍手に包まれて、夢に挑戦根岸の子」 ～自らの可能性を信じ、夢の実現を目ざして、たくましくあゆみ続ける子の育成～	心身ともにたくましく生きる力

（2）中期取組目標

中 期 取 組 目 標
○「チーム根岸」として、全職員が児童一人ひとりを大切にし、子どもたちの笑顔があふれる学校づくりを目指します。 ・学び合いの楽しさを味わい、粘り強く課題に取り組めるように授業改善を行い、学力向上を図ります。 ・挨拶を大切にするとともに、自他の良さに気付き安心して過ごせる居場所づくりを進めます。 ・自分の体力に目を向け、日常的に進んで運動する子を育てます。 ・「根岸のまち」の人との地域活動を通して、まちを愛する子を育てます。 ・組織的・効率的に業務を行うとともに、学び続ける職員集団をつくります。

（3）体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具 体 的 取 組
健やかな体		①年３回短縄記録会を設ける。記録会に向けて短縄週間や体育で短縄に取り組む時間を設けることで、練習の機会を設定し、体力の向上を図る。また、短縄カードを活用し、意欲を高める。 ②学校保健委員会で「感染症の予防」を取り上げ、児童会の活動を活用して意識を高め、生活に生かせるようにする。
担当	体育研究部	

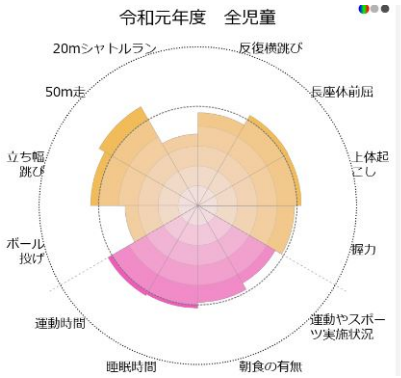
2　体育・健康に関する実態把握

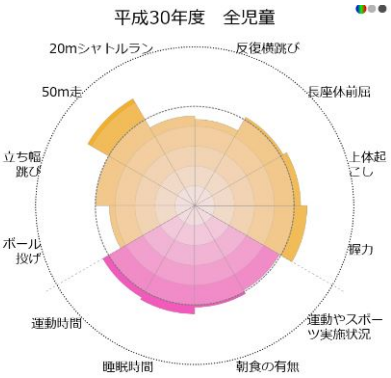
（1）体育・健康に対する実態（一昨年の体力テストの結果より）

- 地域スポーツへの参加状況は、半数弱の児童がスポーツクラブに所属している。体育科学習以外の時間での運動の実施状況は二極化している。
- 学区に公園が多数あるが、許可されている遊びが限定されている。
- 給食の残量は少ないが、好き嫌いをする児童は多い。また「早寝・早起き・朝ごはん」は定着してきているが、まだまだ改善の余地がある。

（2）体力の概要と要因の分析（全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）

- 一昨年度の新体力テストの結果から、全国平均や市平均とほぼ同等であるが、持久力、反復横飛び、ソフトボール投げが下回っている傾向がある。





- 令和元年度、平成３１年度の２年間の新体力テストの結果を見ると、健康な生活に結び付く全身持久力を示す 20mシャトルランの数値が下回っており、全体としては課題が見られる。反復横飛びは昨年度より数値が上がっている。縄跳び・ジャンプ運動の成果と思われる。今年度さらに続けたい。

３　体育・健康に関する具体的取組

教　科

《体育科・保健体育科での取組》
○運動特性に触れさせながら、基本的な技能を身に付けさせることで、できる喜びや楽しさを味わわせる。
○自己評価を行い、自分の実態を明確に把握させることで、課題をもって学習に臨めるようにする。
○多様な運動を経験させることで、様々な動きに触れ、運動の楽しさを見つけ、生涯体育につなげられるようにする。
《他教科での取組》
○家庭科では、食育との関連を図り、バランスのよい食事について理解を深めるようにする。
○生活科・理科では、生命の尊さについての理解を深められるようにする。

特別活動・総合的な学習の時間

《他領域での取組》
●道徳の時間では、規範意識や礼儀を大切にする態度、また自他の生命を尊重する態度を養う。
●特別活動では、日常生活における健康問題について自らが見つけ、自分で判断し、行動する能力や態度を育む。
●新体力テストや学校保健委員会の取組をもとに、自分自身の体力や生活習慣に目を向けられるようにする。
●学校保健委員会では、感染症予防をテーマに、新しい生活様式を意識し、さらに生活習慣、特に良い食習慣が免疫力を高めることを意識して過ごすことが、自分の体は自分で守っていくという意識を高める。
●その他（健康診断等）自分の体の成長を知る。

課外活動

・給食委員会による給食週間の呼びかけを行い、全校がめあてをもって給食を食べられるようにする。
・目標をもって、各クラスで短縄跳びを取り組めるようにする。
・体育朝会や運動週間を設け、縄跳び運動や根岸ダンスをすることにより、運動に対する共通理解を行い、各学年・学級での体育科学習に活用する。
・年２回学校保健委員会を開き、全校児童が自分の健康や体力に課題意識をもって、生活・実践していけるようにする。

令和３年度　　根岸小学校　体力向上１校１実践運動

≪名　　称≫　短縄記録会・根岸ダンス
≪ねらい≫　運動の機会の確保、体力向上
≪ 内 容 ≫　年間を通して短縄記録会の取組を行い、各クラス・個人の伸び率や練習の量を提示するようにする。根岸ダンスを体育の準備運動などに取り入れる。年２回シャトルランを行い記録をとる。自分の記録の伸びを実感させ、運動に対する意欲を持続させながら、体力の向上を目指す。
●指　標：　・縄跳び名人カード　・短縄マラソンカード